

和泉都議
3期目スタート
野党第一党の幹事長として

熱海市土石流災害の

救援募金にとりくむ

都に対して申し入れも

「都としても残土処分場の一斉調査を」

日本共産党都議団は、和泉都議を先頭に、7月12日、新宿駅西口で、熱海市伊豆山の土石流被害の救援募金活動を行いました。また、崩落した土砂の大部分が建設残土による盛土であったことも明らかにな

「残土規制条例をつくれ」

都議団の申し入れは、八王子市戸沢峠で起きた残土処分場崩落事故や、最近の青梅街道の土砂崩れ事故の例をひいて

一、都内の残土処分場の一斉調査

二、都として残土規制条例を制定する

三、建設残土の発生から最終処分するまでを管理・監督する部署を設置する

をもとめています。



共産・立憲など野党で議会招集権を確保

都議会に早くも変化が...

さきの都議選で日本共産党が18議席から19議席へ前進し、立憲民主党も8議席から15議席へと倍増しました。一方、自民党・公明党は合わせても過半数に届かない56議席にとどまりました。

その結果、都議会でははやくも変化が起つています。

まず、共産党と立憲民主党で都議会の4分の1の議席を超え、臨時議会の招集権を確保したことです。これによって野党が要求すれば知事と議長は臨時議会を開催しなければならなくなりました。小池百合子知事はこれまでのように補正予算を都議会にはか

きたる8月20日には監査委員と各常任委員を決める臨時議会

が予定されています。通常は1日だけの議会ですがコロナ緊急事態宣言が延長されることになり、政府の中小企業への「月次支援金」は出るので都は補正予算を組まざるを得ません。

この補正予算を知事専決にしてきませんでした。臨時議会でも質疑しようではないか、となんと自民党が提案してききました。

いままでも野党が臨時議会の開催を要求しても応じなかった自民党が態度を変えざるを得なくなったのです。

これまでは和泉都議が幹事長として野党各会派をまわって開催要求をまとめてきたのですが、いまは各野党が共産党控室に集まって相談し合うようになりました。

野党共闘も前進しているので



日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
NO.60 2021.8
和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851

